

ファインダー越しに北区の 魅力再発見

あいの里フォトクラブ



拓北・あいの里地区センターで開催されたカメラ講座をきっかけに誕生した「あいの里フォトクラブ」。ここでは、カメラ初心者から経験者までの約20人

が、思い思いのペースでカメラライフを楽しんでいる。毎月の例会や季節ごとに行われる撮影会で腕を磨き、同地区センターなどで開催する写真展で作品を披露。中には、北海道写真協会主催「写真道展」での入賞経験者もいる。

身近な記念写真からコンテストへの応募など趣味性・芸術性の高いものまで、幅広い楽しみ方があるのも写真の魅力の一つ。また、いつもの見慣れた景色も、ファインダー越しに見ることで新たな発見を与えてくれることも。

6年ほど前に写真を始めた中川昌子^{なかがわまさこ}さんは「北区に住んでいても、まだまだ知らないところはたくさん。遠出しなくても写真は撮れます。最近では、日常のちょっとした瞬間を逃さないようにいつもカメラを持ち歩いています」と話してくれた。

💡 「あなたが撮った北区の街・人・風景」募集中！

北区では、北区の魅力を写した写真を募集しています。身近な発表の場として、早速応募してみませんか？
(応募先は、きた1ページ参照)

札幌国際芸術祭 2014 関連イベント 北☆ガク アートフェスティバル

歌舞伎^{あいぞ}や藍染め^{あま}、亜麻の保存活動など、日ごろから文化活動が活発な北区。そこに学生の力を加え、若い世代の感性を生かしたアートイベント「北☆ガク アートフェスティバル」を開催します。

あなたの「やってみたい」がここにあるかも！？

9月27日(土)、28日(日)

札幌エルプラザ (北8西3)

詳細は9月号の情報プラザをご覧ください！

“和”でありながら インターナショナルな音色

そうぶげん
草舞弦

すぎなかひさお こさあや
(杉中久夫さん・ゆう呼咲亜弥さん)



札幌を拠点に、スペインやスイスなど海外でも演奏活動を行っている音楽ユニット「草舞弦」。

杉中久夫さんの津軽三味線の音色に合わせて、ゆう呼咲亜弥^{ふとさお}さんが舞を奏でる。太棹三味線の深く重みのある音色と日本舞踊との融合。「スペインで演奏した際には『音色に哀愁を感じる』との感想をいただいたことも。津軽三味線の歴史をその音色から感じ取ってもらえたようでうれしい」と杉中さんは話す。

さらに、地元である北24条周辺や町内会の祭りなどでも積極的に活動。人から人への口コミで演奏の機会を得ることも多いそう。「私たちは、出会った人々とのつながり、ご縁でこれまで演奏を続けてくることができました。自分たちのホームグラウンドとして、地元はこれからも大切にしていきたいですね」と話してくれた。



💡 日本的な音色だけじゃない！草舞弦の音の世界

オーストラリアの民族楽器「ディジュリドゥ」やインドの民族楽器「タンプーラ」など、さまざまな国のルーツとなる音楽を融合し、独自の世界を表現しています！

札幌国際芸術祭 2014 関連イベント

北☆ガク アートフェスティバル

歌舞伎^{あいぞ}や藍染め^{あま}、亜麻の保存活動など、日ごろから文化活動が活発な北区。そこに学生の力を加え、若い世代の感性を生かしたアートイベント「北☆ガク アートフェスティバル」を開催します。

あなたの「やってみたい」がここにあるかも！？

9月27日(土)、28日(日)

札幌エルプラザ (北8西3)

詳細は9月号の情報プラザをご覧ください！

「職業」を担当する
いわもとりか
岩本里華さん

「音楽」を担当する
いとうたいま
伊東大騎さん

「美術」を担当する
くまがいあずさ
熊谷梓さん

現在、私たちが中心となって「音楽」「美術」「職業」のカテゴリーで幅広い世代が楽しめる参加型のイベントを企画中！アートだけではなく、パソコンを使ったゲーム作りの体験や音楽とフラワーアートのコラボも予定。ぜひ遊びに来てください！

【問い合わせ】

地域振興課まちづくり調整担当係 ☎ 757-2407